Cominix

平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月14日

上 場 会 社 名　大阪工機株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3173　　ＵＲＬ　http://www.osk-k.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）柳川　重昌
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長兼経理部長（氏名）南　雄治　（TEL）06(6765)8201
四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日　配当支払開始予定日　平成25年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（　機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	8,202	9.4	205	△7.4	216	△0.8	74	△55.4
25年３月期第２四半期	7,497	―	221	―	218	―	166	―

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　153百万円（1.1%）　25年３月期第２四半期　152百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	21.62	―
25年３月期第２四半期	48.46	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	10,219	3,637	35.4
25年３月期	8,620	3,555	41.1

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　3,622百万円　25年３月期　3,542百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	21.00	21.00
26年３月期	―	11.00			
26年３月期(予想)			―	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,678	17.4	531	25.4	521	18.2	246	△9.9	71.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年３月期２Ｑ	3,434,420株	25年３月期	3,434,420株
② 期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	65株	25年３月期	32株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年３月期２Ｑ	3,434,378株	25年３月期２Ｑ	3,434,401株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・４

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・４

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・４
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・４

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・７
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・９
(4)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・10
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・10
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）における我が国経済は、政府の経済政策を背景に、円高の是正や、輸出・生産の改善、個人の消費マインドの持ち直し等も見られ、景気は緩やかに持ち直しているものの、依然として欧州政府債務問題が引き続き景気の下振れリスクとなっております。当社グループの属する業界におきましては、生産については持ち直し傾向にあるものの、設備投資については依然として底堅い動きとなっており、業界全体の本格的な景気回復には至っていない現状であります。

このような環境の中、当社グループでは、国内におきましては提案営業に力を入れた拡販活動を進めてまいりました。海外におきましても、アジアを中心にメキシコ、インドなど今後市場の拡大が予想される地域への拡販活動に努めてまいりました。

この結果、第２四半期連結累計期間における売上高は8,202,234千円（前年同四半期比9.4％増）、営業利益は205,509千円（前年同四半期比7.4％減）、経常利益は216,504千円（前年同四半期比0.8％減）、過年度法人税等を含む法人税等の計上により四半期純利益は74,275千円（前年同四半期比55.4％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、日三工業株式会社の株式取得の影響もあり売上高は増加した一方、販売拠点の拡充に伴う人員の増加等の影響によりセグメント利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

この結果、売上高は5,468,215千円（前年同四半期比6.0％増）、セグメント利益は64,785千円（前年同四半期比38.0％減）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、猛暑の影響により飲料缶メーカー向けの売上が増加するなど、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,280,119千円（前年同四半期比4.6％増）、セグメント利益は149,167千円（前年同四半期比22.5％増）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、中国、タイ、フィリピンの連結子会社におきましては、販売体制の強化に伴う売上高の増加や為替レートの影響を受け売上高は堅調に推移いたしましたが、インド及びメキシコにおいては、連結子会社を設立して間もないこともあり、売上高は低調に推移しセグメント損失は拡大いたしました。

この結果、売上高は1,078,120千円（前年同四半期比26.7％増）、セグメント損失は32,799千円（前年同四半期は4,051千円のセグメント損失）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、検査装置メーカー向けの売上が増加するなど、売上高は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は375,778千円（前年同四半期比41.9%増）、セグメント利益は22,867千円（前年同四半期は651千円のセグメント損失）となりました。

(2)　財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,170,696千円増加し、7,961,369千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が514,274千円、現金及び預金が381,605千円、商品が173,619千円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて427,503千円増加し、2,255,993千円となりました。これは、主に日三工業株式会社及び共榮機工株式会社の株式取得・子会社化により、のれんが292,749千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,598,778千円増加し、10,219,114千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて939,748千円増加し、5,381,656千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が627,666千円、過年度法人税等の計上により未払法人税等が183,209千円、１年内返済予定の長期借入金が139,594千円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて577,254千円増加し、1,200,449千円となりました。これは主に、日三工業株式会社及び共榮機工株式会社の株式取得のために長期借入れを行ったことにより長期借入金が506,312千円増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて1,517,003千円増加し、6,582,105千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて81,774千円増加し、3,637,008千円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益の計上により74,275千円増加した一方で、配当金の支払いにより72,122千円減少したことや、為替換算調整勘定が57,749千円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,093,962千円（前年同四半期比55.9%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、162,389千円（前年同期は199,912千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益216,504千円、仕入債務の増加額273,125千円、減価償却費26,299千円などであり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額211,177千円、たな卸資産の増加額66,853千円、法人税等の支払額53,198千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、328,101千円（前年同期は26,232千円の獲得）となりました。

これは、主に日三工業株式会社及び共榮機工株式会社の株式を取得したことに伴う、子会社株式の取得による支出289,071千円などを主な原因としております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、493,300千円（前年同期は130,135千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入による収入700,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出125,540千円、配当金の支払額71,954千円、社債の償還による支出55,000千円などであります。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては本日（平成25年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,116	1,146,721
受取手形及び売掛金	3,001,906	3,516,181
商品	2,756,080	2,929,700
その他	294,829	400,475
貸倒引当金	△27,259	△31,708
流動資産合計	6,790,673	7,961,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	318,531	312,562
土地	1,014,264	1,027,128
その他（純額）	73,641	83,872
有形固定資産合計	1,406,437	1,423,563
無形固定資産		
のれん	8,770	301,519
その他	30,744	36,625
無形固定資産合計	39,514	338,144
投資その他の資産		
その他	400,124	521,588
貸倒引当金	△17,586	△27,303
投資その他の資産合計	382,537	494,284
固定資産合計	1,828,489	2,255,993
繰延資産	1,173	1,751
資産合計	8,620,336	10,219,114
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,940,042	3,567,709
短期借入金	809,041	870,268
1年内償還予定の社債	100,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	180,234	319,828
未払法人税等	51,917	235,127
賞与引当金	123,930	137,507
役員賞与引当金	18,685	12,000
その他	218,056	184,216
流動負債合計	4,441,908	5,381,656
固定負債		
長期借入金	389,614	895,926
退職給付引当金	110,210	158,440
役員退職慰労引当金	117,533	136,944
その他	5,836	9,138
固定負債合計	623,194	1,200,449
負債合計	5,065,102	6,582,105

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	2,852,650	2,854,803
自己株式	△17	△36
株主資本合計	3,533,029	3,535,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,659	31,774
為替換算調整勘定	△2,211	55,538
その他の包括利益累計額合計	9,448	87,312
少数株主持分	12,755	14,533
純資産合計	3,555,234	3,637,008
負債純資産合計	8,620,336	10,219,114

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
売上高	7,497,449	8,202,234
売上原価	5,997,797	6,594,427
売上総利益	1,499,652	1,607,807
販売費及び一般管理費	1,277,762	1,402,297
営業利益	221,889	205,509
営業外収益		
受取利息	140	40
受取配当金	636	716
仕入割引	22,754	23,676
その他	5,471	18,296
営業外収益合計	29,002	42,729
営業外費用		
支払利息	6,817	6,489
売上割引	12,347	11,357
その他	13,469	13,887
営業外費用合計	32,634	31,734
経常利益	218,257	216,504
特別利益		
保険解約返戻金	61,527	－
特別利益合計	61,527	－
税金等調整前四半期純利益	279,785	216,504
法人税、住民税及び事業税	124,281	129,517
過年度法人税等	－	104,045
法人税等調整額	△10,937	△91,572
法人税等合計	113,343	141,990
少数株主損益調整前四半期純利益	166,441	74,514
少数株主利益	－	239
四半期純利益	166,441	74,275

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,441	74,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,721	20,115
為替換算調整勘定	7,529	59,287
その他の包括利益合計	△14,191	79,402
四半期包括利益	152,250	153,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,069	152,139
少数株主に係る四半期包括利益	180	1,777

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	279,785	216,504
減価償却費	22,189	26,299
のれん償却額	4,385	9,186
社債発行費償却額	703	703
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,207	11,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,283	5,449
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,223	△6,685
退職給付引当金の増減額（△は減少）	23,285	17,397
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,125	△7,199
受取利息及び受取配当金	△777	△757
支払利息	6,817	6,489
為替差損益（△は益）	2,257	18,465
保険解約返戻金	△61,527	－
売上債権の増減額（△は増加）	73,081	△211,177
たな卸資産の増減額（△は増加）	99,818	△66,853
仕入債務の増減額（△は減少）	△389,906	273,125
その他	△80,109	△69,941
小計	△22,017	222,007
利息及び配当金の受取額	777	757
利息の支払額	△7,089	△7,177
法人税等の支払額	△171,583	△53,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,912	162,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,125	△14,130
有形固定資産の売却による収入	1,901	1,359
無形固定資産の取得による支出	△3,701	△9,251
投資有価証券の取得による支出	△3,300	△3,932
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△289,071
保険積立金の積立による支出	△15,720	△16,599
保険積立金の解約による収入	62,256	6,552
その他	△2,077	△3,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,232	△328,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△74,900	45,835
長期借入れによる収入	400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△76,020	△125,540
社債の償還による支出	△50,000	△55,000
自己株式の取得による支出	△17	△19
配当金の支払額	△68,113	△71,954
その他	△814	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,135	493,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,726	1,257
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△41,818	328,846
現金及び現金同等物の期首残高	743,688	765,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,870	1,093,962

(4)　四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,158,243	1,223,446	850,884	264,875	7,497,449	－	7,497,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	7,965	－	7,965	△7,965	－
計	5,158,243	1,223,446	858,850	264,875	7,505,415	△7,965	7,497,449
セグメント利益又は損失（△）	104,489	121,811	△4,051	△651	221,598	291	221,889

（注）１　セグメント利益の調整額291千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,468,215	1,280,119	1,078,120	375,778	8,202,234	－	8,202,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	12,524	－	12,524	△12,524	－
計	5,468,215	1,280,119	1,090,645	375,778	8,214,759	△12,524	8,202,234
セグメント利益又は損失（△）	64,785	149,167	△32,799	22,867	204,020	1,489	205,509

（注）１　セグメント利益の調整額1,489千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「切削工具事業」セグメントにおいて、株式の取得に伴い、日三工業株式会社及び共榮機工株式会社を連結子会社にしております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第２四半期連結累計期間においては301,935千円であります。